

# 平成 27 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 森ノオト

## 1 事業の成果

NPO として 3 年目となる森ノオトの 2015 年は、組織基盤の強化に力を注いだ。事務局を設けて定例会議をおこない、森ノオトのミッション、強みなどを分析して、森ノオトらしい事業・サービスづくりをおこなうべく、営業資料づくり、中期経営計画の策定に取り組んだ。9 月からスタートした「かながわボランティア ACE プログラム」を受講し、2020 年の森ノオトのあるべき姿を見据えた事業計画を立て、森ノオトのターゲットや今後のビジョンを整理してきたことで、2020 年に向け「エコまちづくり」を強力に推進していくこと期待できる状況にある。

2015 年度は、通年事業のメディア「森ノオト」運営、2013 年度より開催している「あおばを食べる収穫祭」「リポーター養成講座」といったレギュラーメニュー、青葉区の委託事業「3R 夢なクッキング講座」のほか、日立財団環境 NPO 助成を受けて「エコ DIY まちづくりプロジェクト」に力を注いだ。小冊子制作やイベント運営などの委託事業の割合も増え、森ノオトがつかってきたネットワーク力、企画力、人材の豊富さを生かした形での事業運営ができるようになってきた。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 環境や社会活動の普及・啓発事業

##### ア 【自主事業】横浜あおば発 地元のエコ発見メディア「森ノオト」の運営

###### ・内 容

本 NPO のメイン事業は、横浜北部に住む子育て世代の主婦が「エコ」を切り口に、生活に密着した地元の情報を発信すること。今年度は 30 名のリポーターが年間 250 もの記事を発信した。NPO の自主事業の告知・報告や、地域での環境啓発に寄与した。

###### ・日 時 通年

###### ・場 所 主に横浜市青葉区・都筑区・川崎市宮前区・麻生区など

###### ・従事者人員 30 人

###### ・受益対象者 読者 約 25,000 人 (月間)

###### ・支出額 2,484,678 円

##### イ 【自主事業 (助成事業)】エコ DIY まちづくり

###### ・内 容

日立財団環境 NPO 助成を受け、住まいと暮らしの省エネを進めていくために、環境建築の第一人者・みかんぐみ共同主宰の竹内昌義氏・丸谷博男氏を招いての講演会、地域の職人・工務店を招いての DIY ワークショップをおこなった。DIY 省エネ改修をおこなうことで建物の仕組みや省エネ原理を知り、発信を通じて省エネの意義を幅広く普及啓発していき、地域内の建築関係者のネットワークも広がった。山形で開催されたリノベーションワークショップにも参加し、建築物のリノベーションとまちづくりにつながるノウハウを学んだ。横浜国立大学理工学部環境建築学科の学生 3 名の研究テーマとしてタイアップをおこない、DIY 断熱の効果測定をおこなった (成果発表会は 2016 年 2 月に予定)。

###### ・日 時 2015 年 6 月～2015 年 12 月

###### ・場 所 横浜市青葉区内

###### ・従事者人員 3 人

###### ・受益対象者 主に横浜市青葉区の住民 のべ 150 名

###### ・支出額 548,547 円

ウ 【自主事業】 子どもシェフのエコクッキングでハッピークリスマス

・内 容

男女共同参画センター横浜北（アートフォーラムあざみ野）からのお声かけで、森ノオトのエココンテンツと会場の魅力を掛け合わせた共催事業をおこなった。子ども向けの初めての料理教室で、クリスマスにちなんだツリー型のポテトサラダ、人参を丸ごとすりおろした人参ごはん、いちごでつくったサンタクロースのレシピは、保護者からも評判がよかった。参加者の9割が「大満足」とアンケートに記入、家に帰ってからも子どもがエコクッキングを実践するとの声もあり、エコの啓発効果が高いことがわかった。

- ・日 時 2015年12月12日
- ・場 所 横浜市青葉区あざみ野
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 主に横浜北部在住の横浜市民 22人
- ・支出額 34,611円（人件費の支払いは2016年度決算に計上）

エ 【委託事業】 横浜シニア大学特別講座「シニア環境塾」

・内 容

公益財団法人横浜市老人クラブ連合会主催の「横浜シニア大学特別講座 シニア環境塾」の全5回のプログラムにおいて、コーディネートをとおこなった。第4回・第5回では60代から90代までのシニアの方々のグループ討議の進行をおこない、シニアの方々の幅広い知見を引き出し、講座の満足度も高かった。

- ・日 時 2015年6月～7月
- ・場 所 横浜市港南区上大岡
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 主に横浜市民 のべ350人
- ・支出額 170,000円

カ 【委託事業】 環境絵日記ワークショップ「食と環境未来都市」

・内 容

全国環境絵日記実行委員会の事務局を務める横浜市資源リサイクル事業協同組合からの委託を受け、JA横浜で開催する「食と環境未来都市」のチラシとパネルを制作、ワークショップを企画・運営した。ワークショップは近隣の小学生を対象に、地元の農家さんにインタビューをおこない、JAの直売所に設置する販売POPをつくるというもの。地域の小学生が地域の農家と交流をもち、自らの作品を制作し、それが地元の直売所で実際に使われるという企画は、新聞にも取材され、注目を集めた。

- ・日 時 2015年8月4日
- ・場 所 JA横浜センター北「ハマッ子」（横浜市都筑区）
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 主に横浜北部の小学生・保護者 30人
- ・支出額 115,000円

キ 【委託事業】 3R夢なクッキング講座

・内 容

青葉区から委託を受け、2013年度、2014年度に引き続き、横浜市の進めるごみの減量キャンペーン「ヨコハマ3R夢（スリム）」の啓発講座を企画・実施した。2015年度は初の夏・秋開催で、野菜の皮や根っこから煮出す「ベジブロス」を中心とした、エコク

ッキングの技を伝授した。夏はガスパチョ風の冷製パスタとオクラのピクルス、秋は豆乳リゾットと白菜とみかんのサラダで、簡単で美味しく、しかも託児付きで無料とあって、今年は参加者数がうなぎのぼりに増えた。

- ・日 時 2015年6月・11月（全5回）
- ・場 所 横浜市青葉区全域
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 主に横浜市青葉区民 約60人（広報対象者多数）
- ・支出額 175,000円

② 農体験、里山保全、環境教育などを通じた地域交流事業

ア 【委託事業】あおば・未来へつなぐ食と農のフォーラム

・内 容

横浜市青葉区のNPO法人農に学ぶ環境教育ネットワークからの委託を受け、横浜市で自然を大切にする食や農・子育てに関わる団体11団体と、参加者、ゲストが交流し、食と農で地域活性化につながる仕掛けをつくるフォーラムをおこなった。ゲストに著名なマクロビオティック料理研究家・中島デコ氏と、青葉区で自然農の野菜を宅配する青果ミコト屋の鈴木鉄平氏、ファシリテーターに株式会社フューチャーセッションズの有福英幸氏を招いて、参加者全員が「地域の食と農の未来」について語り合うワールドカフェをおこなった。最後に参加者全員が輪になって1人ずつ発表し、全員参加型のフォーラムとして大盛況のうちに幕を閉じた。

- ・日 時 2015年2月8日
- ・場 所 横浜市青葉区あざみ野
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 主に横浜北部在住の横浜市民 約120人（広報対象者多数）
- ・支出額 520,279円

③ 地産地消を推進する事業

ア 【自主事業】あおばを食べる収穫祭2015

・内 容

2013年度、2014年度に続き、藤が丘商店会の協力を得て、地産地消とオーガニックに特化したマルシェイベントを開催。当日は天候が心配だったが、なんとか雨がもち、地域住民約2000人が来場、フードやドリンク、ステージイベント、ワークショップなどを楽しんだ。リユース食器の使用と、来場者や出店者の自主的なごみ回収の効果もあり、イベント全体で出たごみは家庭用ごみ袋にしてわずか1袋という成果も昨年通り。今年のリユース食器ブースの運営を、森ノオトメンバーの子どもたちがおこない、エコに小学生が参加するスタイルをとった。

- ・日 時 2015年11月23日（月・祝）
- ・場 所 藤が丘駅前公園（横浜市青葉区藤が丘）
- ・従事者人員 25人
- ・受益対象者 主に横浜北部在住の横浜市民 約2,500人
- ・支出額 281,961円

イ 【委託事業】『神奈川食べる通信』編集、神奈川・山形版編集長対談イベント

・内 容

横浜市中区の地産地消カフェ「80\*80」のオーナー・赤木徳顕氏が編集長を務める『神奈川食べる通信』創刊号の編集アドバイザーとして制作をサポートした。赤木氏と『山形食べる通信』編集長の松本典子氏による対談ランチ会の企画・コーディネート 4

月におこない、横浜北部・川崎市・東京・千葉など、多方面からの参加者を得て、『神奈川食べる通信』のネットワークの拡大に寄与した。

- ・日 時 2015年3月～5月
- ・場 所 神奈川県全域
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 神奈川県全域（発行部数1,000部）、イベント参加20名
- ・支出額 20,200円

④ 自然エネルギーを普及する事業

ア 【自主事業】森ノエレキラボ

・内 容

森ノオトでこれまで実施していた「独立型ソーラーシステムワークショップ」で製作するソーラーシステムを、薄型、軽量かつオシャレなものにして、普及拡大をはかろうと、エンジニアの方をお招きして企画開発を進めた。8月に「Maker Faire Tokyo 2015」に出展して発表した。

- ・日 時 2015年2月～8月
- ・場 所 横浜市青葉区
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 広く一般市民
- ・支出額 3,500円

イ 【委託事業】農林水産省・農山漁村の再生可能エネルギーパンフレット制作

・内 容

日本再生可能エネルギー協会からの委託で、農山漁村での再生可能エネルギー拡大に向けた普及啓発のパンフレットを製作した。

- ・日 時 2015年4～5月
- ・場 所 横浜市青葉区美しが丘地区
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 全国の農業従事者（多数）
- ・支出額 245,000円

⑤ 男女共同参画を推進する事業

ア 【自主事業】2015年度森ノオトリポーター養成講座

・内 容

ウェブメディア「森ノオト」の運営は、地域に暮らす女性が取材活動を機に地域社会との接点をもち、エコまちづくりに貢献することにと直結している。2015年度のリポーター養成講座は全6回で非常に密度が高く充実した内容となった。各回10名が参加して全講座を修了、最終的に8名がリポーターとなり地域で活発に取材活動をおこなった。

- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市青葉区さつきが丘（ウィズの森）
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 主に横浜北部、田園都市線在住者 のべ60名（10名×6回）
- ・支出額 31,000円

イ 【自主事業】手づくり恵方巻きワークショップ

・内 容

森ノオトの料理部メンバーによる初の自主企画イベント「手づくり恵方巻きワークショ

ップ」は、巻き寿司の巻き方のコツや、7つの具材のレシピ、試食とお土産つき、メンバーによる託児ありと、子育て中のお母さんには魅力的な内容となった。当日は大雪で開催が危ぶまれたが、キャンセルも少なく、料理部メンバーのがんばりにより盛況に終わった。

- ・日 時 2015年1月29日
- ・場 所 横浜市青葉区青葉台
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 主に青葉区在住者 8名
- ・支出額 34,100円

#### ウ 【自主事業】 森のお茶会

##### ・内 容

森ノオトリポーター内の交流を深めるとともに、リポーター発案の企画をトライアルとして実現する場として、4月から毎月一回、森ノオト事務所「森ノオウチ」でお茶とお菓子つきの気楽な交流会を設けた。メンバーのスキル分析ワークショップ、自然エネルギー工作、ちくちく手縫いで洋服のリメイク、スモーク料理交流会など、内容も幅広く、新しい企画にチャレンジしリポーターが力を発揮する場としての機能が生まれた。

- ・日 時 2015年4月～12月（全7回）
- ・場 所 横浜市青葉区鴨志田町
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 主に横浜市青葉区在住住民 50人
- ・支出額 31,000円

#### エ 【自主事業】 地域をつむぐローカルジャーナリズム講座

##### ・内 容

マスマス関内フューチャーセンター主催「マスマスカレッジ」の新規部門として、森ノオトのリポーター養成講座を一般化した「地域をつむぐローカルジャーナリズム講座」を初企画・実施した。森ノオトはコーディネーター、コンテンツづくり、広報などを主におこなった。神奈川県、東京都などから、ローカルメディアを立ち上げたい志ある方々の参加を得て、ネットワークが広がった。

- ・日 時 2015年10月～12月
- ・場 所 横浜市中区
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 横浜市、神奈川県、東京都の住人 のべ120名（各回約20名×6回）
- ・支出額 51,000円